

## 山形県ものづくりコンテスト ＜電子回路組立部門＞

山形県立米沢工業高等学校

菅沼 和章

### 1 第8回県大会（兼東北大会予選会）について

#### 1) 日程関係

- ア 日 時 平成24年6月16日（土）
- イ 会 場 山形県立産業技術短期大学校  
実験実習棟3F電子回路実習室
- ウ 参加者 27名

#### 2) 競技結果

##### ア) 総 合

- 1位 今野陽介（山形工：情報システム科2年）  
92.5点 ＜東北大会出場権獲得＞
- 2位 渡部健斗（米沢工：電気情報類3年）  
80.0点
- 3位 堀 悠弥（東根工：電子システム科3年）  
73.5点

##### イ) ハードウェア部門

- 1位 太田珠莉（東根工：電子システム科3年）
- 2位 石川修也（山形工：電子システム科2年）
- 3位 鈴木和樹（米沢工：電気情報類3年）

##### ウ) ソフトウェア部門

- 1位 長谷川将大（鶴岡工：情報通信システム科3年）
- 2位 長尾康志（山形工：情報システム科3年）
- 3位 澁谷 暁（鶴岡工：情報通信システム科3年）

### 2 2012 東北大会について

- 1) 日 時 7月30～31日
- 2) 会 場 福島県郡山北工業高等学校
- 3) 参加者 7名（各県代表1名と開催県1名）
- 4) 成 績 1位〇〇県2位〇〇県3位〇〇県

競技時間内での動作確認となり、何度も動作確認を要求してする選手がおり、県代表の今野君は、練習の成果を発揮できず〇〇位となった。

### 3 第12回 全国大会（長野県）

- 1) 日 時 11月17日
- 2) 会 場 ポリテクセンター松本
- 3) 成 績 1位〇〇県2位〇〇県3位〇〇県
- 4 県大会を振り返り

ハードウェア競技は、上位者については、ミスが無く東北大会でも充分通用するレベル。しかし、

ハンダ量やジャンパー線の水平・垂直度など、まだまだ厳しい審査基準を想定し準備する必要があるのではないだろうか。

ソフトウェア競技の課題は東北大会の仕様に合わせて作っていただき、1/4の選手はすべての課題についてプログラムが出来ていた。入賞者は、すべての課題について動作が出来ていた。今後は「審査を受ける」を意識して、見やすさ・見栄え・字下げ・コメントなども必要と思われた。

全国や東北大会では、毎年審査員が変わるため、採点基準が前年度や県大会と微妙に異なる場合があるので、全国で入賞するには、どんな課題にも対応できるように厳しい条件の下での練習方法を身につけなければならないと思う。

全国情報技術教育研究会のWebページに公開されている「ものづくりコンテスト電子回路組立部門指導書」をぜひ参考にしてください。



### 5 おわりに

ものづくり人材育成のため、平成21年度より、県大会の会場を産業技術短期大学校とした大会が無事開催できたのは、素晴らしい環境の会場だけでなく、審査補佐員（産業技術短期大学校学生）の御協力をいただいたおかげです。産業技術短期大学校の横山校長先生はじめ関係各位に感謝申し上げます。